

令和元年度下半期 地域ケアセンター会議 実施状況一覧(練馬圏域)

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	参加者数	テーマ/目的	検討結果
第2育秀苑	令和元年11月18日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、地域ボランティア団体、介護サービス事業所、練馬区みどりのまちづくりセンター等	30人	【テーマ】 家開きのすすめ 【目的】 自宅等の空きスペースを開放する「家開き」について、その方法・助成や事例の紹介により、地域の居場所づくりを考えていく。	・「もし自分が家開きをするなら」のテーマでグループワークを実施。公的機関による家開きの支援や、空間の有効活用と居場所づくりという2方向からのアプローチによる家開きの事例紹介を行なった。 ・参加者より「こういう方向での街づくりがあることを知った」「地域のパワーを感じた」等の意見があった。
桜台	令和元年11月27日	民生児童委員、町会・自治会、介護サービス事業所、区民防災課等	35人	【テーマ】 災害・防災に関する様々な取組 【目的】 今年度は「台風の被害」が多くあった。その中で水害が大きな被害をもたらした。新しい練馬区のハザードマップの説明や被害にあった時の自身や家族の身の守り方等を学ぶ。	・令和元年10月の台風被害を受けて、練馬区のハザードマップについて参加者の情報共有を図るとともに、グループワークを通じて理解を深めた。 ・参加者より「浸水ハザードマップで、避難所や水が多くなってしまいう危険地帯等が理解できた。」「自分の命を守る大切さが良くわかった。」等の意見があった。
豊玉	令和元年11月30日	民生児童委員、町会・自治会、コンビニエンスストア、薬局、介護サービス事業所等	35人	【テーマ】 みち・きいて・つながろうプロジェクト 迷い人見守り・声かけ模擬訓練 【目的】 高齢者の方が認知症になっても住み慣れた街で安心して過ごしやすい街づくりを目指した模擬訓練を行い、その体験を情報共有・意見交換を行う。	・認知症の方が地域で迷われた時の声かけの模擬訓練を実際に体験してもらい、参加者で振り返り共有することができた。 ・「声かけのタイミングが難しかった。」「声をかけた地域の方がよく観察して教えてくれ安心した。」等の意見があった。 ・参加者同士の交流だけでなく、地域住民との交流も図ることができ、地域住民への周知も含めて継続を希望する意見が多かった。
練馬	令和元年10月31日	民生児童委員、町会・自治会、南町小学校防災委員会、訪問支援協力員、介護サービス事業所等	28人	【テーマ】 練馬・向山地域の災害の特徴と災害時の健康管理について 【目的】 防災についての意識を持っていただき、地域ごとの防災についての取り組み等情報共有を行う。	・台風による水害の恐れが生じた時期でもあり、活発な意見交換が行えた。 ・「日頃から地域の方々と顔見知りになっておくことが大事。特に独居の方の情報を共有する必要がある。」等の意見があった。 ・南町小学校防災委員会による東日本大震災時の取り組みについて説明いただき、他地域の町会の方や事業所の方から参考にしたいとの声もいただいた。
練馬区役所	令和2年1月17日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、認知症家族会、介護サービス事業所、社会福祉協議会等	41人	【テーマ】 出前防災講座「防災に備える」 【目的】 豊玉上、豊玉北地域の関係機関間のネットワークに基づいた地域包括ケアシステムの確立	・防災についての講座やグループワークを通し、大雨と地震における心得や実際に起きたときの対応などを確認した。 ・「高齢の方に伝えることが大切。」「自分の家の周りや避難所の確認などの大切さを改めて思った。」等の意見があった。 ・今後は、自助だけでなく、共助・公助の立場から考えていく場を設ける必要があると感じた。
中村橋	令和2年2月13日	民生児童委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所、薬局、警察署、社会福祉協議会等	30人	【テーマ】 シニアドライバーと高齢期の交通安全について 【目的】 認知症の有無に係わらず、高齢期の運転や歩行者としての安全について学び、運転免許証の自主返納やそこにまつわる課題を、地域の関係者間で話し合い、支援について共有する。	・「免許返納後にどのような生活ができるか」についてグループワークを実施した。 ・移動手段で車を使わなくなる不便さよりも、シルバーパスを有効活用している区民の話が参考になった。 ・「地元の状況が分かって良かった。」「免許返納後の生活について高齢者がどうしているかに直面するか考えることができてよかった。」等の意見があった。

令和2年度上半期 地域ケアセンター会議 実施状況一覧(練馬圏域)

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	参加者数	テーマ/目的	検討結果
--------------	-----	------------	------	--------	------

第2育秀苑	令和2年9月17日	民生児童委員、町会・自治会、介護サービス事業所、障害サービス事業所等	10人	<p>【テーマ】 新しい日常の中でからだと心の健康を保つ</p> <p>【目的】 新型コロナウイルス感染症の影響で、日常が「新しい日常」としてどのように変わり、どのように対応してきたか、どんな影響がこころや体にあったか、今後しばらく続くであろう「新しい日常」への思いを参加者で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について、印象や対応などを質問する事前アンケートを協力機関に対して実施した。 ・今後「新しい日常」の中で、地域との繋がりを保ちながら、健康に過ごすにはどのような支援が必要か参加者で検討した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため、これまで今回のような顔を合せての集まりを行うことができなかったが、改めて集い情報共有することの重要性を認識することができた。
桜台	令和2年8月19日	民生児童委員、介護サービス事業所、警察署等	16人	<p>【テーマ】 今、桜台が狙われています!詐欺の手口を知り、高齢者の財産を守りましょう!</p> <p>【目的】 高齢者を狙った詐欺が多発しており、その手口も巧妙化している。詐欺の手口を知ること、どのような対応策をとれば良いかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬警察署から管内の詐欺被害状況について具体的な説明をいただき、参加者間での情報共有を図った。 ・「とても分かりやすかった。自分は絶対に騙されないと思っているが、こんなに巧妙だったら、騙されない自信が無くなってきた。」「具体的な数字を見せられると、身近でこんなに詐欺の被害にあってる高齢者がいるのかと愕然となった。」等の意見があった。
豊玉	令和2年8月 書面開催	民生児童委員、町会・自治会、介護サービス事業所、社会福祉協議会、はつらつセンター豊玉、中村敬老館等	25人	<p>【テーマ】 「新しい生活様式」を取り入れた新型コロナウイルス流行下における各所の取り組みについて</p> <p>【目的】 新型コロナウイルス流行に関する対策や工夫について意見交換を行い、連携強化を図ると共に、各所から出されたご意見を持ち帰り日頃の活動の一助としていただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について、地域住民、関係機関と意見交換を行った。 ・「訪問介護は休むことができず支援を続けている。感染リスクが高い中で業務を行っている。」「地域サロン活動は、経費がかかるのでアルコール消毒液等の感染防止対策品を区から配布してもらいたい。」等の意見があった。
練馬	令和2年7月30日	民生児童委員、町会・自治会、介護サービス事業所、社会福祉協議会、厚生文化会館等	28人	<p>【テーマ】 地域における新型コロナウイルスの影響</p> <p>【目的】 地域における新型コロナウイルスの影響を振り返り、ネットワークを考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防の観点から、ソーシャルディスタンス確保のため参加者を限定し会議を開催した。 ・コロナ禍の中でも「町会役員として近所の見守りや道などで会ったら声をかけていこうと思う。」「見守りの意識のアンテナをはり、感染に十分に気をつけながらコミュニケーションをとっていきたい。」等の意見があった。
練馬区役所	令和2年9月1日	民生児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、認知症家族会、介護サービス事業所、社会福祉協議会等	55人	<p>【テーマ】 出張出前講座「知っておきたい!権利擁護」</p> <p>【目的】 豊玉上、豊玉北地域の関係機関間のネットワークに基づいた地域包括ケアシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、感染防止対策を徹底し時間を短縮した上で、「権利擁護」に関する出前講座を開催した。 ・「今後必要な場面になった時にとっても役に立つと思った。」「パンフを活用してご家族の方々に説明し、不明なところは相談させていただきたい。」「大事な講義なのに時間が少なかった。」等の意見があった。
中村橋	令和2年8月19日	民生児童委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所、薬局、社会福祉協議会、東京大学大学院、貫井図書館等	21人	<p>【テーマ】 介護離職を防ぐために</p> <p>【目的】 高齢者人口は増え、核家族化が進み、介護の形態も多人数で分散する事が出来ず、その結果子ども世代が背負う負担が増大する傾向にある。そこで介護離職について地域の課題として考える機会とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師より「介護離職を防ぐために」および「介護家族の気持ち」について講演をいただいた。 ・介護負担の増加や介護中心の生活となることで社会から孤立すること、身体的・経済的負担など、家族介護者の現状と支援のポイントについて学んだ。 ・「介護に悩む方々に声掛けが出来そう。」等の意見があった。